

パートナーズ(株) 布子克敏の お悩み解決 リフォーム講座



第17回 金属サイディングにまつわる誤解

老朽化した外壁のリフォームのさい、有力な選択肢となるのが金属サイディングだが、誤解のために他の方法を選ぶ人がいる。今回は金属サイディングに関する正しい知識について。

金属サイディングに関する第一の誤解は、「長持ちしない」です。これは「金属は錆びるから」

という固定観念に基づくものですが、外壁にまつわる最大の問題は、つなぎ目から壁の内部への水の侵入です。とくに、壁板と壁板の間を樹脂製のコーキングで埋めている石膏ボードの外壁の場合、コーキングが硬化してひび割れ、そこから水が入り込みやすくなります。金属サイディングは専用のジョイント部材で接合されるため劣化した樹脂から浸水する心配がなく、長期間にわたり防水性を維持できます。

第2の誤解は「金属サイディングは重いので建物の負担が大きい」というものです。「金属」が付いていると重そうですが、実際にはガルバリウム鋼板で覆われているのは表層だけで、厚みのはんは豊富な空気を含む断熱材によって占められており、石膏ボード



などほかの壁材よりも軽量です。両方を手に持つてみれば、違いは歴然です。

第3に「金属サイディングは外観が安っぽい」との誤解があります。実際にはメーカー各社からバラエティに富んだ色、模様の商品が登場しており、石積調、木調など個性豊かな外壁を演出することができま。複数の種類の金属サイディングを組み合わせれば、さらに表現力が高まります。このほか、ハイグレードな金属サイディングのなかには、特殊な表面処理が施され、壁の汚れを雨水とともに流す機能を備えたものもあります。

他の外壁リフォーム工法と比較して、以前は割高だった金属サイディングですが、近年は値下がりが進んでいます。塗装だけで済ませるなど低コストでシンプルな方法を選ぶ方もいますが、費用と耐久性を比較すれば、北海道寒冷地での住宅は金属サイディングが最有力の選択肢と言えるでしょう。

当社では4月末までにお見積りさせていただいたお客様を対象に、1平米あたり5300円(ニチハ製影光を使用、工事費、材料費、足場代、消費税込)で金属サイディング工事を承っています。冬期間も施工は可能ですので、お気軽にご相談ください。

プロフィール

ぬのこかつとし アルミ建材メーカーでの14年間の勤務を経て独立、2011年にパートナーズ(株)を設立して社長就任。37歳。

我が家をあこがれの「タイルの住まい」にリフォームするチャンス

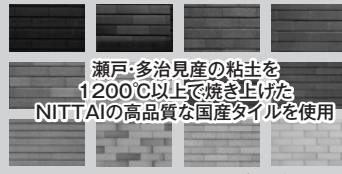
壁面積132㎡
(40坪)で

188.7万円

材料費・工事費・足場代
消費税、すべてコミコミ

外壁施工面積25坪以上の単価
既存モルタル壁の撤去が必要な場合は
別途費用がかかります

外壁タイル工事の熟練職人が施工します
乾式引っ掛け工法で驚きのプライスを実現



瀬戸:多治見産の粘土を
1200℃以上で焼き上げた
NITTAIの高品質な国産タイルを使用

セラビアライトシリーズ

リフォームのことなら
なんでも気軽に相談を

- キッチン&バス
- バリアフリー化
- 耐震改修
- 断熱ドア・断熱窓
断熱改修etc.



皆様の良いパートナーでありますように……
パートナーズ株式会社

見積無料 通話料無料

0120-696-818

ホームページは「パートナーズ旭川」で

検索

まずはご連絡を 当社では電話による営業活動や訪問販売は行っておりません

T070-0035 旭川市5条通9丁目1703-30 ロイヤルビル6F